

令和 6 年 7 月 8 日

長野県知事 様

年度長野県産業廃棄物 3 R 実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物 3 R 実践計画書を提出します。

協定期間	令和 5 年度から令和 7 年度		
会社名	株式会社ヤマウラ		
住所	〒399-4195 長野県駒ヶ根市北町22番1号		
代表者名	代表取締役社長 山浦正貴		
業種	建設業		
処理施設 所在地 (処理施設を有する場合)	施設名	所在地	
担当部署	安全室		
担当者名	三井明彦		
連絡先	T E L	0265-81-6050	
	F A X	0265-81-6168	
	電子メールアドレス	a.mitsui@yamaura.co.jp	
ホームページアドレス	http://www.yamaura.co.jp/		

1 産業廃棄物 3 R 実践方針

統合マネジメントシステム方針 < 理念 > わたしたちはお客様を大切に、幅広い知識と高度の技術と創造性豊かな発想を持ち、地域の信頼を基盤に、常に革新と努力によって、お客様のニーズに素早く対応し、お客様に社員一人一人が愛され、信頼されて、地域社会の発展と企業の繁栄、社員の生活の向上を目指します。上記理念の実現のために、以下の事項を確実に実施します。1. 当社及びお客様の要求事項に適合した高品質の製品、サービスを提供します。2. 法令及びその他の要求事項を遵守し、環境汚染の予防及び負傷・疾病の予防を図ります。3. 品質・環境・労働安全衛生の各管理について、目的・目標を設定し、全社員で推進します。4. 危険源を除去し、労働安全衛生リスクを低減するとともに安全で健康的な労働条件を提供します。5. 社員、協力会社を含め働く人々とのコミュニケーション（協議及び参加）を図り、労働安全衛生活動を推進していきます。6. 統合方針は全社員に周知し、社内外へ公開します。7. 統合マネジメントシステムを定期的に見直し、継続的改善に強めます。

2 排出抑制、リサイクルのための目標値及び過年度実績値

	当年度目標値及び実績値		過年度実績値	
	年度目標値	第 65 期	第 64 期	第 63 期
総排出量の推移 (t・kg・m ³)				
リサイクル量の推移 (t・kg・m ³)				
売上高の推移 (円)		37,546 百万円	31,381 百万円	27,946 百万円

3 排出抑制、リサイクルのための取組内容

受注した建設工事に含まれる解体分産業廃棄物（とりこわし分）の大小により総排出量が変わってしまい、売上高との相関関係が無い場合、解体工事、改修工事等を対象から外し、減量化目標値を設定する対象工事を新築工事に限定する。また、新築工事の仕様により廃棄物の排出割合も大きく変動するため、仕様が比較的画一的である商品系のRC造集合住宅、商品系の木造戸建住宅、標準タイプの排出量を指標として設定する。目標値は延べ面積当たりの排出量実(厚さ)とし、この値を指標とする。

◆目標値

RC造集合住宅（標準タイプ）

延床面積当たり 100mm以下

木造戸建住宅（標準タイプ）

延床面積当たり 95mm以下

◆前記の他、電子マニフェストの推進、産業廃棄物委託契約の電子化推進

以下の観点も参考としていただいで構いません。（必要に応じ写真等を添付してください。）

- ・産業廃棄物処理責任者等
- ・産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開
- ・産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明(処理施設を有する場合)
- ・処理を委託する処理業者(施設)の現地確認計画
- ・従業員教育(研修)計画
- ・リサイクル促進に向けた取組(計画段階、実施段階での工夫など)
- ・処理委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底
- ・不適正処理を発見した場合の協力体制
- ・自社処理廃棄物の管理方法(自社処理を行っている場合)
- ・独自に取り組む事項

代替素材への転換(化石燃料由来プラスチック製品等からバイオマスプラスチックなど環境負荷の低い素材や製品へ転換していくこと)、環境認証制度等の取得(環境 ISO 14001、エコアクション 21 等)、電子マニフェスト(公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター)の導入等。

4 リサイクル製品使用率目標値

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（％）

製品（材料）種別	当年度目標値	過年度実績値		
	年度目標値	年度実績値	年度実績値	年度実績値
全体				